

公益社団法人 日本農芸化学会関東支部 2019年度第1回 企業イベント

(報告者: 阪上 了一)

日本農芸化学会関東支部2019年度第1回 企業イベント ～企業で活躍する先輩からのメッセージ～が、2019年11月2日(土)に東京大学農学部2号館第1講義室で開催されました。

本イベントは、将来のキャリアとして企業への就職を考える院生・学部生に対して、企業の第一線で活躍中の先輩方の生の声をお伝えし、交流していただくことで、若者の未来をエンカレッジすることを目的として、秋と冬に2回に分けて開催しているものです。農芸化学系の出身者の企業での活躍の場は、研究開発だけでなく、生産や営業まで幅広く、本年度の第1回 企業イベントでは、キッコーマン、小川香料、(株)明治、天野エンザイム、アサヒビール、中外製薬の6社よりご賛同を頂き、関東の学生88名が参加しました。

当日の講師と演題(敬称略)

1. 戸塚 直哉 (キッコーマン株式会社 研究開発本部)
キッコーマンの研究開発
2. 篠崎 拓郎 (小川香料株式会社 フレーバー第1事業部)
香りのビジネス ～基礎研究から営業提案～
3. 水野 雄貴 (株式会社明治 研究本部 商品開発研究所 商品開発センター)
(株)明治の研究開発 ～ミルクプロテインプロジェクト～
4. 山城 寛 (天野エンザイム株式会社 マーケティング本部)
天野エンザイムの研究開発 ～酵素の持つ可能性～
5. 梅ヶ谷 南 (アサヒビール株式会社 酒類技術研究所)
アサヒビールの微生物技術開発 ～酒類のもっと“うまい”のために～
6. 宮本 あかり (中外製薬株式会社 製薬本部)
中外製薬でのバイオ医薬品製薬研究の魅力

講演の部では、企業紹介、自己紹介、業務や研究についての紹介、研究員の一日や余暇について、社会人のキャリアパス、会社を選んだ理由、学生への期待やアドバイス等々、興味深い話が満載で、学生にとって有意義で実りある講演内容でした。

その後のパネルセッションでは、学生からの様々な質問に答えて頂き、それぞれの会社の特徴や魅力を分かりやすく発信して頂きました。



講演の様子



パネルディスカッションの様子

JSBBA KANTO

その後、学内の弥生講堂アネックスに移動し、企業から参加した講師、先輩社員を囲んで交流会が行われました。交流会では、企業の方を囲んで、車座に腰かけ、普段聞けないことなども含めて、積極的に質問していました。企業の方々も熱心に答えて下さり、大盛況のうちに開催することができました。



交流会の様子

本イベントは、参加するのが講演企業の担当者と学生のみであるため、フラットな立場で、双方が遠慮なく、自由に交流ができることが大きな特徴です。参加した学生から次のような感想をいただきました。「事業化、スケールアップなど企業ならではの課題と取組が良く分かった。」「企業で求められる人材像が分かった。」「業種や企業ごとの特色が良く分かった。」「個別に質疑応答が出来き、様々な質問に丁寧に答えて頂けたのが良かった。」

一方、講師の方からも、「熱意を持った多くの学生さんと話が出来たのが良かった。」「自分を振り返る非常に良い機会になった。」「他社での研究や事業の話が刺激になった。」等の感想を頂きました。

参加した学生の皆さんや講演企業の方々にも満足頂き、有意義なイベントを提供できたと思います。

次回の第2回 企業イベントは、2月8日(土)に東京家政大学で開催の予定です。